



2024-25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック



No.3574 11月26日(火)

● 本日の卓話

「和歌山県の重点施策について」

和歌山県知事
岸本周平さん

● 次週の卓話

「年次総会」

「2023-2024年度 出席表彰」

出席・プログラム委員会

● 先週の例会記録

- ✳️ロータリーソング 四つのテスト
- ✳️ビジター紹介 なし
- ✳️出席報告 (会員数80名、免除会員1名)
本日出席(11/19) 57名 71.25%
- ✳️メイキャップ 海南東創立50周年記念ゴルフ大会へ3名、
和北へ3名、アゼリアへ1名、
地区大会へ12名
- ✳️S. A. A. (ニコニコ箱) 松井良樹さん、野井和重さん、福地達明さん、
松尾泰明さん、野志幸生さん、瀬川良浩さん、
吉川正永さん、竹中喜廣さん、中野智一さん、
親睦・ソング委員会一同

本日合計 ¥52,000 今年度累計額 ¥916,000

- (財団寄付献金箱) 松井良樹さん、野井和重さん、福地達明さん、松尾泰明さん
- (米山奨学会献金箱) 松井良樹さん、野井和重さん、福地達明さん
- (青少年育成奨励金) 松井良樹さん、野井和重さん、福地達明さん

11月はロータリー助回月間

竹中喜廣 会員

満77歳

喜寿のお祝い

(昭和22年11月19日生)



● 会長あいさつ

会長 野井和重

【地区大会】



先週の土日、2024-2025地区大会がりんくうのホテルで開催されました。参加して頂いた皆様、有難う御座いました。今回のテーマは「DEIの考え方を学び、実践する」という事でありました。

DEI…みなさまロータリアンですからご存じと思いますが、D=ダイバーシティ(多様性)、E=エクイティ(公平性)、I=インクルージョン(包括性)という単語の頭文字ですが、RIでは2021よりDEIに対する会員の意識変化のアンケートを取っています。会員の意識に変化が見られるかどうかを確認するため、2023年には全世界のロータリー会員を対象に再びアンケート調査を実施しました。アンケートは世界50万人に配信され、回答率は約11%、5万人余りから回答が来たようですが、現時点で結果は分析中という事ではありますが、今回の記念講演者である2660地区2022-2023ガバナーでありRI/DEI諮問委員長の宮里惟子氏でありましたので、その中から講演内容として何点か抽出して頂きました。色々ありましたが、結局RIが今抱えている大問題は「会員の減少」という事であり、アンケート結果から分析され、特に注目されるのは日本のロータリークラブであったようです。

我がクラブで昨日から始まっているIDMのテーマは「会

員増強」であります。ぜひ若者の皆様には忌憚のない直球の意見を出してほしいと思っています。

話はアンケートに戻りまして、日本の結果が他地域に比べ意識が低いという事であったようです。日本の伝統や文化がDEIへの理解度の妨げになっているように聞こえました。しかし日本のロータリークラブも今のままではダメなことはよく分かっているはずですが。若い世代を迎え入れるにはどうしたらいいのか？皆様の会社でも最大の課題であるはずですが。ロータリークラブも同様ですから、どうか皆様IDMにて知恵をお貸しください。よろしく願いいたします。

2026-2027林会長ノミニエのときのガバナーは現在42歳の河内長野高野街道ロータリークラブの岡本さんです。2640地区は彼をどう盛り上げ、どう会員の減少を食い止め、若い世代を新会員として迎え入れるのか。楽しみでもありますが、我がクラブは90周年。その年に向かって皆様でDEIについて深い議論をしていきましょう。

最後になりましたが、地区大会一日目は8名、二日目は4人でありました。伝統を重んじる和歌山ロータリークラブでありますから、各クラブの規範となるような参加人数でありたいとも、恥ずかしながら思いました。

会長報告

- クリーン&コネクト和歌山様からの掲載物、企業向け大判がありますので、ご協力いただける企業様は事務局まで

幹事報告

- ハイライトよねやま メール配信をしています、ご確認ください
- 能登半島地震支援金への募金協力のご依頼
先週の募金総額は¥50,075となっています。
- I.D.M各回議事録係の方は、完成後速やかにご提出をお願いいたします
- 完了している事業は事業報告書を各理事へご提出ください

委員会報告



ゴルフ会 中谷久生 幹事

海南東ロータリークラブ50周年記念
ゴルフ大会参加のご報告

- 8位 松尾泰明会員
- ベスグロ 松尾泰明会員
- ブービーメーカー 坂本貢朗会員
- ニアピン 松尾泰明会員



退会のあいさつ

竹村浩和 会員

卓話

「税務行政の現状」



和歌山税務署

署長 松本誠一さん

近年、経済社会のICT化やグローバル化が著しく進展する中、国税職員の定員の減少や申告件数の増加などもあり、調査・徴収が複雑・困難になってきています。

税務行政を取り巻く環境が大きく変化する中で、今後も納税者の皆様の御理解と信頼を得て、適正な申告・納税を確保していくため、国税当局が考えていることを明らかにし、着実に取り組んでいくことが重要と考え、平成29年6月に「税務行政の将来像～スマート化を目指して～」を公表いたしました。

この「将来像」では、「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収の高率化・高度化」を二本柱とし、①ICTやマイナンバーの活用によるデジタル化を推進し、税務相談や申告・納付

手続をスムーズかつスピーディなものにして納税者の利便性を向上させること、②税務署の内部事務の集中処理（内部事務のセンター化）などを通じた業務改革を進めることで創出したマンパワーを「国際的租税回避」や「大口・悪質な事案」などへの確に対応することを重点課題に取り組んでおります。

また、令和5年6月には、新たに「事業者のデジタル化促進」を柱に加え、施策を進めているところでございます（「税務行政のデジタルトランスフォーメーション－税務行政の将来像2023－」）。

こうした「税務行政の現状」国税当局が取組状況を公表した趣旨につきまして、今後も皆様からの御理解と引き続きの御協力を賜りますようお願い申し上げます。



(左から) ご紹介者 野志幸生会員、
卓話ゲスト 松本誠一さん、野井会長、松井幹事

国際ロータリー第2640地区 地区大会 開催!!

2024年11月16日(土)・17日(日)



「食文化研究会」第18回会合 開催

11/12(火) 食文化研究会 第18回会合が
割烹 松屋 (泉佐野市) で開催されました。

